

第1学年 保健体育科学習指導案

単元名：ダンス（創作ダンス）

指導者：

- 1 日 時 : 令和4年2月10日(木) 第6校時
- 2 場 所 : 体育館
- 3 学年・学級 : 第1学年1組(37名), くすのき学級(2名)
- 4 単 元 名 : ダンス(創作ダンス)

(1) 単 元 観

本単元は中学校学習指導要領解説保健体育編Gダンスの内容を取り上げている。ダンスは創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスで構成され、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることを楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

小学校では、低学年の表現リズム遊びで、題材の特徴を捉え全身で踊ったり、リズムに乗ったりして踊ることを、中学年及び高学年の表現運動で、表したい感じをひと流れの動きで表現したり、リズムや踊りの特徴を捉えたりして踊ることを学習している。

第1学年では、感じを込めて踊ったり、みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じて交流できるようにする。その際、表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすることが大切である。また、ダンスの学習に積極的に取り組み、仲間の学習を援助することや一人一人の違いに応じた表現や役割を認めることなどに意欲をもち、健康や安全に気を配ることができるようにすることが大切である。

(2) 生 徒 観

本学級の生徒は1年1組37名と特別支援学級2名の39名で構成している。学級は活発で明るい雰囲気クラスである。今回ダンスを行うにあたり事前アンケートを実施した。その結果、「運動が好きである」「体育が好きである」という質問項目については、それぞれ90%以上の生徒が肯定的な回答であり、体育や運動に対する興味・関心は高く、多くの生徒が意欲的に授業へ臨んでいることが分かる。さらに「仲間と一緒に活動することが好きである」の質問項目に対しては87.5%の生徒が肯定的回答をするなど、学級の班活動にも積極的に取り組む生徒が多いことが分かる。そのため、ペアやグループで活動することは効果的だと考える。小学校では伝承してきた踊りやリズムに乗っての表現運動を学び、学習の成果を仲間と一緒に運動会等で発表することができた。「ダンスが好きである」「自分が注目されることが好きだ」という質問項目についてはそれぞれ71.9%の回答となった。しかし、「自分がダンスをすることにに対して恥ずかしい」という回答は72.9%となり、ダンスにおいて人に注目されることを好まない生徒もいる。自由記述欄には、「自分の失敗を馬鹿にされるのが怖い」という意見もあり、多くの生徒はダンスを行うことに対して恥ずかしさと不安を感じていることが分かる。

(3) 指 導 観

指導に当たっては、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わうことができるようにする。自分の中の思い込みや他者に対するイメージが克服できるように、少人数での簡単な表現活動から取り組ませる。ダンスが得意ではなくても、即興的に表現したり、お互いの表現を認め合えるような活動を通して自信を持たせたい。またダンスへのとらえを「喜びや感動の体験」という視点に立って、

踊る喜び・作る喜び・観る喜びを感じさせ、発表と鑑賞方法については、生徒が安心して表現できるようにダンスの目標を踏まえ、次の2点についての工夫をする。

- ① 恥ずかしさを取り除くために、毎時間の導入で現代的なリズムのダンスやゲームを行い、仲間と関わりながら心と体をウォーミングアップしていく。展開場面においてもグループで楽しみながら体で即興的に表現する活動を行い、最後のダンス発表でも2グループ間で見合う活動を行う。
- ② 【思考力・判断力・表現力等】を育成するために、グループ活動や交流で課題を発見し、合理的な解決に向けて知識を活用したり、考えたことを他者にわかりやすく伝えられたりできるようにする。

(4) 本单元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の4点である。

【知識及び技能】			
【思考力、判断力、表現力等】	① 伝える力	② 問題解決能力	
【学びに向かう力、人間性等】	③ 協働する力	④ 公共心	

この中から、本单元で育成しようとする資質・能力は次の2点に重点を置く。

【思考力、判断力、表現力等】 ① 伝える力

グループ活動や交流で課題を発見し、合理的な解決に向けて知識を活用したり、考えたことを他者にわかりやすく伝えさせる。

【学びに向かう力、人間性等】 ③ 協働する心

イメージを捉えた表現活動や、簡単な作品の創作場面において、2グループ間での交流を行い、より良い作品創作に向けて自らの考えを他者に表現する話し合いに参加させる。

5 単元の目標と評価規準

○ 単元の目標

- (1) 即興的に動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動き(思いつくままに捉えたイメージをすぐに動きにかえる)で表現できるようにする。【知識・技能】
- (2) 表現など自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて知識を活用したり、考えたことを他者にわかりやすく伝えられるようにする。【思考力・判断力・表現力】
- (3) 一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとすることができるようにする。【学びに向かう力・人間性】

【単元を貫く問い】

どうすれば自分を感じたり考えたことを伝えることができるだろうか

○ 単元の評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動きで表現している。	①課題を発見し、合理的な解決に向けて知識を活用したり、考えたことを他者にわかりやすく伝えたりすることができる。	①ダンスの学習に積極的に参加しようとしている。 ②一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようすることができる。

6 指導と評価の計画 全5時間 (本時は2/5)

次	学習内容(時数)	評価					
		知技	思判表	主態	評価規準	評価方法	資質・能力
1	・即興的に誇張のある表現をする。			○	〔主態〕ダンスの学習に積極的に参加しようとしている。	行動観察 振り返り	③協働する力
2	・即興的に創作ダンスをする。		◎		〔思判表〕課題を発見し、合理的な解決に向けて知識を活用したり、考えたことを他者にわかりやすく伝えられるようにする。	行動観察 ワークシート	①伝える力
3	・即興的に誇張のある創作ダンスをする。			◎	〔主態〕一人一人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようすることができる。	行動観察 振り返り	③協働する力
4	・発表会に向けてグループごとに、創作ダンスをする。		◎		〔思判表〕課題を発見し、合理的な解決に向けて知識を活用したり、考えたことを他者にわかりやすく伝えられるようにする。	行動観察 振り返り	①伝える力
5	・発表会をする。	◎			〔知技〕動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動きで表現している。	行動観察 振り返り 実技	

7 本時の展開

(1) 本時の目標

ポイントを押さえて、相手に伝わるように即興で表現することができる。

(2) 観点別評価規準

◎課題を発見し、合理的な解決に向けて知識を活用し、考えたことを他者にわかりやすく伝えることができる。

評価方法：ワークシート、行動観察

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
①伝える力	A 自身が考えたことを他者にポイントを押さえて2つ表現できる。 B 自身が考えたことを他者にポイントを押さえて1つ表現できる。 C 自身が考えたことを他者に表現している。

(4) 準備物：ホワイトボード、タンバリン、スピーカー、プリント

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） （努力を要する生徒への指導の手立て◆）	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 （評価方法）
導 入	○整列・挨拶・出席確認 ○前時の授業の復習 ○本時の目標の確認	・元気よく挨拶させる。 ・前時で「即興」「誇張」を学習したことを思い出させる。	
	○リズムダンス 「みんながみんな英雄」を踊る。 ・1回目男女4列 ・2回目2・3列男女が入れ替わる。	・曲によって、全身を揺らせたり弾ませたりしてリラックスさせる。	
展 開	○即興で表現する（新聞紙の活用） 新聞紙の配布（1人1枚） 【1人】 ①上に投げる。②頭に乗せる。 【2人組】 ③2人で上に投げ入れ替える。 ④自由な表現	・新聞紙を使う抵抗感をなくさせる。 ・前後で2人組を組ませる。 ・表現を大きく自由に行わせる。	

<ul style="list-style-type: none"> ・ペアが動かす新聞紙になりきって自由に表現する。 【4人組】 ⑤新聞紙を使って即興的に表現させる。 ・4人の内の1人が即興し3人が模倣する。1～4の番号を決定 ・笛の回数でリーダーは代わる。 ○グループ練習1 ・4人組で創作ダンスを考える。 ・テーマ（宝探し）と曲（パイレーツ・オブ・カリビアン）からイメージを捉え、即興的に自由に表現する。 ・誇張と変化を使う。 ○発表会1・交流 ・2グループで行う。 ・他グループの創作ダンスを見た後、ワークシートに良かったところや活用していたポイントなどを書き、口頭で伝える。 ○グループ練習2 ・発表会1・交流で受け取ったアドバイスを踏まえ、さらにポイントを活用できるようにもう一度練習する。 ○発表会2・交流 ・2グループ間で行う。 ・他グループの創作ダンスを見た 	<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓の音に合わせて誇張や変化をつけさせる。 ・太鼓の音や強さに合わせて、誇張や変化をつけさせる。 ◆動くことができない生徒に対しては、「走ったり回ったり落としたりしてごらん」と声をかける。 ◆必ずしも人間を表現する必要はないことや、結末も自由に表現できることを伝える。 ・言葉だけではなく、「体でおしゃべり」するように伝える。 ◆動きが止まっている班は、「集まる一飛び散る」「対極の動き」などの具体的な動きの一部を教える。 ◆創作ダンスのポイントを踏まえて書かせる。 ◆「肘を伸ばす」「胸を張る」「足をあと10cm大きく開く」など具体的な声かけをする。 ・観察者には、1回目と比較してど 	<p>☆伝える力（行動観察・映像を撮影）</p>
---	--	--------------------------

	<p>後、ワークシートに良かったところや活用していたポイントなどを書き、口頭で伝える。</p>	<p>のように良くなったかななどを伝えさせる。</p>	
<p>【主体的・対話的な学びの時間】 課題を発見し、合理的な解決に向けて知識を活用し、考えたことを他者にわかりやすく伝えられるようにする。</p>			
<p>まとめ</p>	<p>○振り返りを行う。 ・ワークシートを書く。 ・自分たちが創作ダンスをしてみ て、ポイントを押さえていたかな などを感想、気づきを踏まえて書く。</p> <p>○号令</p>	<p>◆ポイントを押さえてより良く創作ダンスができたか、本時の感想などを書く。</p>	<p>☆伝える力（ワークシート）【思考力・判断力・表現力】</p>

(6) 板書計画

<p>めあて</p>	<p>ポイントを押さえて、相手に伝わるように即興で表現することができる。</p>
<p>◎本時の流れ</p> <p>①ウォーミングアップ</p> <p>②新聞紙</p> <p>③創作ダンス</p> <p>④振り返り</p>	<p>◎ポイント</p> <p>①誇張 → おおげさな表現</p> <p>②変化 → スピード・強弱・大小</p>